

1949年に誕生した国鉄は、復旧途上の設備で貨物輸送を一手に担い、戦後の高度成長を支え、断もつくれた。「鉄道は国家なり」であった。だが多段の多様化でシェアは低下、自立的な経営もままな赤字が雪だるま式に増え、労使関係も悪化、ついに87年に分割民営化された。今、人口減、IT化、ナ禍を受け、鉄道は再び危機に瀕している。国鉄の何を学ぶか、JR九州初代社長が明かす。

石井幸孝著

国鉄

—「日本最大の企業」の栄光と崩壊

38年間の歴史から、 鉄道の未来、 国の未来を考える

国鉄で車両の近代化を進め、
JR九州初代社長を務めた著者が語る、
国鉄の誕生、発展、そして衰退——

中公新書 2714 定価1210円(10%税込)



2714

38年の歴史から
何を学ぶか

中公新書

戦後復興、高度成長、そして
停滞——その歴史と教訓

国鉄—「日本最大の企業」の栄光と崩壊
石井幸孝/著



9784121027146



1921221011004

ISBN978-4-12-102714-6

C1221 ¥1100E

定価 本体1100円+税

1949年に誕生した国鉄は、復旧途上の設備で旅客・貨物輸送を一手に担い、戦後の高度成長を支え、新幹線もつくれた。「鉄道は国家なり」であった。だが交通手段の多様化でシェアは低下、自立的な経営もままならず、赤字が雪だるま式に増え、労使関係も悪化、ついに1987年に分割民営化された。今、人口減、IT化、コロナ禍を受け、鉄道は再び危機に瀕している。国鉄の歴史に何を学ぶか、JR九州初代社長が明かす。

●中公新書・今月の新刊

- 2710 日本インテリジェンス史 小谷賢
- 2711 京都の山と川 鈴木康久・肉戸裕行
- 2712 韓国併合 森万佑子
- 2713 「美味しい」とは何か 源河亨
- 2714 国鉄—「日本最大の企業」の栄光と崩壊 石井幸孝